



## どっこい社民党！ がんこに平和！

### 福島党首5選・得票率2、37%確得



2022年6月29日

第二十六回参議院選挙が行なわれました。今回の選挙は、物価高や年金の切り下げに苦しむ国民の暮らしを置き去りに、防衛費の倍増を狙い改憲戦争の出来る国づくりに進むとする自公政権にノーを突きつける大切な選挙でした。また、社民党にとっては国政党としての政党要件がかかった、まさに崖っぷちの選挙でした。

九州ブロックは、比例代表に沖繩の宮城イチロ候補を擁立し「がんこに平和、くらしが一番、戦争させない」をスローガンに総力を挙げて闘いました。

社民党は、比例代表で一議席を獲得し、福島党首の五選を果たしました。

全国の得票は百二十五万八千六百二十一票（二、三七％）と国政党として政党要件を確保することが出来ました。

県連合は、この参議選にあり、国政党としての社民党を何としても残す！そのため何が出来たのか、出来る事は何でもする！三月からの街頭宣伝活動をはじめ、党員のみなさんには長期間、大変なご苦労をおかけしました。

県内の社民党の比例得票は二万八千四百十六票（五、八三％）と、宮城候補を擁立した沖繩県（一〇、九九％）に次ぐ全国で二番目でした。

この得票は、昨年の衆議選



長田・河野・小野・利光・岡部さん

よりも三百七十九票の微増となつています。

県内で応援・支持して下さった支援者の皆さん、有権者の皆さん、そして最後まで粘り強く闘ってくれた党員の方々に心から感謝を申し上げます。

自民党は、ロシアのウクライナ侵攻や、投票日直前に起きた安倍元総理への銃撃事件を追い風に単独過半数を確保、公明・維新・国民民主・参政の改憲勢力が三分の二以上となり憲法改悪の発議へと進むでしょう。



社民党の役割は大きくなりません。このことを自覚し、今後の運動に取り組んでいこうではありませんか。

県連合幹事長 馬場徳明

### 崖っぷちの我が日本！

今回の参議院選挙の結果を踏まえて岸田首相は、間髪入れずに、自民党の改憲草案の発議に向けて議論を深めていくと言及しました。

このことは私たち国民にとって非常に危険な事です。にもかかわらず、多くの国民があまり関心を示しません。

戦後の日本は平和憲法により「戦争の放棄」を決断したから国家予算を経済・社会保障に使う事が出来た。しかし自公政権は、ロシアのウクライナ侵攻を機に、ロシアや北朝鮮、中国の脅威を必要以上に煽り、これまでの防衛費の二倍、十一兆円を目指すとした。それに維新も国民民主も同調しているのです。

敵基地攻撃能力を反撃能力と言い換えたり、核保有論までさやかれています。武力で平和は守れない事は明らかです。

もしも戦争になれば、エネルギーは輸入、食料の自給率四割以下、原発五十基以上が立ち並ぶ日本に勝ち目はありません。しかも自衛隊希望者は年々減り、防衛大学卒業者も安保法制以降、減り続けています。ウクライナのように十八歳から六十歳まで徴兵されることに日本もなりかねないのです。

若者の多くが変化を望まず政治に無関心と言われていますが、戦後から大きく戦前に変わろうとしている事に気付いて欲しいと思います。

日本は今、崖っぷちなので

県連合副代表 二村誠一

# 共産党・れいわ新選組・社民党 安倍元首相の国葬に反対を表明！

岸田首相が今秋に安倍元首相の国葬を執り行うと発表した事に対して共産党・れいわ新選組・社民党は反対を表明した。

社民党幹事長服部良一氏は次のように述べた。

安倍元首相の不慮の死を遂げられたことにお悔やみ申し上げるが国葬には次の理由で反対する。

①国葬の基準が曖昧である。

②安倍氏の政治的評価は様々である。

③安倍元首相はじめ自民党と旧統一教会の関係を解明、検証を抜きに「国葬」をするべきでない。

## とんでもない 安倍元首相の国葬

県連合幹事会として、全国連合服部幹事長表明を受けて、次のとおり意思確認した。

- 岸田首相が安倍元首相の国葬を執り行う理由とした
- ①日本経済の再生に貢献
  - ②外交の重責を担った功績
  - ③東日本大震災からの復興に貢献した、とした事について、



とんでもない話で、アベノミクスは大きく評価は分かれ、長引く不況のなか、消費税を増税し格差は大きく広がり、外交は私たちの税金を世界に六十兆円のバラ巻き外交、米、国からの兵器爆買い、北方領土問題はプーチンに軽くあしらわれ、北朝鮮の拉致問題はなんの進展もなし、東日本大震災の復興も道半ば…。

どう考えても国民に貢献したとは到底認められない。

今回の安倍元首相銃殺事件で、いつせいに暴力での言論の抹殺は、民主主義に対する挑戦で到底許されないと報じられた。

勿論、暴力は決して許される事ではない。しかし国会で「私や妻が関係していたら首相や議員を辞める」発言以降、公文書改ざん問題、うその答弁一〇〇回以上、森友・加計学園問題、桜を見る会、アベノマスク失政等々、安倍元首相の悪行・失政を挙げたらきりが無い。

加えていえば数に任せた強硬な国会運営で、集団的自衛権を可能にして、戦争への道を進められた事。

こんな故人を国費を使い国葬にすることは認められない、断固反対したい！



安倍元首相の支持者や支持政党で合同葬を行えば良いのではないか。私たちは、国葬にする必要は全く無いと考えます。

社民党大分県連合幹事会

## 安倍元首相銃殺事件と世界平和統一家庭連合



世界を驚愕させた安倍元首相銃殺事件！

山上徹也容疑者（41歳）は事件直前、知人に宛てた手紙で、「安倍は本来の敵ではないのです。あくまでも現実で最も影響力のある統一協会のシンパの1人に過ぎません。」と書かれていたようです。（マスコミの「山上容疑者の思い込み」表現はおかしい！）

マスコミによると、旧統一教会が、いまだに自民党選挙の実動部隊になっている側面があるとしている。そして、安倍元首相の秘書官だった井上参議院議員は、もうすでに信徒になっていると協会幹部が発表していると報道…。

日刊ゲンダイの記事によると、旧統一教会と関係のある国会議員は、自民党98人・立憲民主党6人・日本維新の会5人・国民民主党2人となっている。社会や政治の罪は重い。

今回の安倍銃殺事件は「一つの刑事事件」として、旧統一教会と安倍元首相・自民党との関わりの真相も解明するべきだと思います。

7月21日、発売の週刊文春の掲載記事には、山上徹也容疑者の生い立ちが詳しく載っている。読めば涙が溢れてくる。暴力は絶対に許せないが、凶行に走る前になんとかならなかったものか、残念でならない。

世界平和統一家庭連合と、これを野放しにした政界にもメスを入れるべきだ！ 教宣部 片山和雄



## 参議院選挙はお疲れさまでした～！

昨日、珍しくニュースを見ていたら、昼間の社民党の会見の動画がありました。久原代表が発言した中で、一部を切り取った感じで、「改憲が発議される状況にきていることについて、どう思うか」のインタビューに対し「ウクライナのようになってもしょうがねえな～」と言うのが流されました。

これだけを取ったら、なんとも投げやりな回答ですが、とっても意味深い言葉であると、後で考えたら思いました。

ウクライナのように外交努力を怠ったことで軍事大国につけいられ、一般市民も巻き込み国土を戦場にしてしまった。そして、海外のいろんな国が武器を提供して双方が軍事力を増強することで停戦の協議もおぼつかなく、この戦争がいつ終わるのか見当もつかない、まさに泥沼状況。つまり平和外交の道を怠る事で、多くの国民が犠牲になっている。

日本も平和憲法を諦めて同じ道を歩むのか？という回答だったのだと思います。他国の戦争であっても必ず影響を受ける今の世界状況、戦争をしない努力が一番大切なんだと！そのためにも憲法九条は変えさせないんだと改めて強く思います。

社民党は国政政党として存続します。アディショナルタイムだと思い、みんなで逆転のシュートを放ちましょう！